

## (12) 社会教育施設

### 1) 図書館

#### ① 概要

本市には、図書館が5か所と図書館分室が8か所あります。

図書館は生涯学習の場として幅広い年齢層の方々の利用を想定しており、市民の求める資料や情報を積極的に収集し、提供しています。特に本市では、市民からの相談に応える「レファレンスサービス」にも積極的に取り組み、「市民のくらしに役立ち、誰もが気軽に利用できる親しみやすい魅力的な図書館」をめざしています。また、移動図書館も運営しています。

中央図書館は府内でも最大規模の蔵書（約73万冊）を有しており、CD資料も豊富で、絵画の貸出等も行っています。中条図書館は合同庁舎内、穂積図書館は全国でも珍しい大型商業施設内に設置しているほか、分室は公民館等との複合施設となっています。

いずれも直営の施設であり、指定管理者制度等は導入していません。

延床面積は、中央図書館が約7,400㎡と突出しており、他の図書館は約1,000～1,300㎡、分室は約90㎡となっています。

なお、中条図書館以外の図書館は平成3年以降に建築しており、平成27年度には中央図書館の大規模改修を実施しました。

表 3-2-24 図書館の概要

No.	施設名	所在地	複合区分	運営形態	延床面積(㎡)	主要な建物の情報（H29年末現在）			
						建築年	経過年数	構造・階数	耐震性
図書館									
1	中央図書館	畑田町1番51号	複合	直営	7,449	H3	26	SRC・2	○
2	中条図書館	東中条町2番13号	複合	直営	989	S48	44	RC・7	○
3	水尾図書館	水尾三丁目3番18号	単独	直営	1,290	H7	22	RC・2	○
4	庄栄図書館	庄二丁目26番12号	複合	直営	936	H10	19	RC・3	○
5	穂積図書館	松ヶ本町8番30号	※	直営	1,317	H13	16	—	○
分室									
1	図書館大池分室	舟木町11番35号	複合	直営	75	S51	41	RC・2	○
2	図書館豊川分室	藤の里二丁目16番8号	複合	直営	83	H18	11	RC・2	○
3	図書館白川分室	鮎川一丁目8番17号	複合	直営	90	S59	33	RC・2	○
4	図書館天王分室	天王二丁目13番71号	複合	直営	88	S60	32	RC・2	○
5	図書館玉島分室	平田二丁目25番9号	複合	直営	88	S61	31	RC・2	○
6	図書館山手台分室	山手台三丁目32番2号	複合	直営	81	S62	30	RC・2	○
7	図書館太田分室	太田三丁目6番18号	複合	直営	87	H1	28	RC・2	○
8	図書館彩都西分室	彩都あさぎ一丁目3番4号	複合	直営	95	H24	5	RC・2	○

※穂積図書館は民間施設内に設置



中央図書館



水尾図書館

## ② 施設位置図

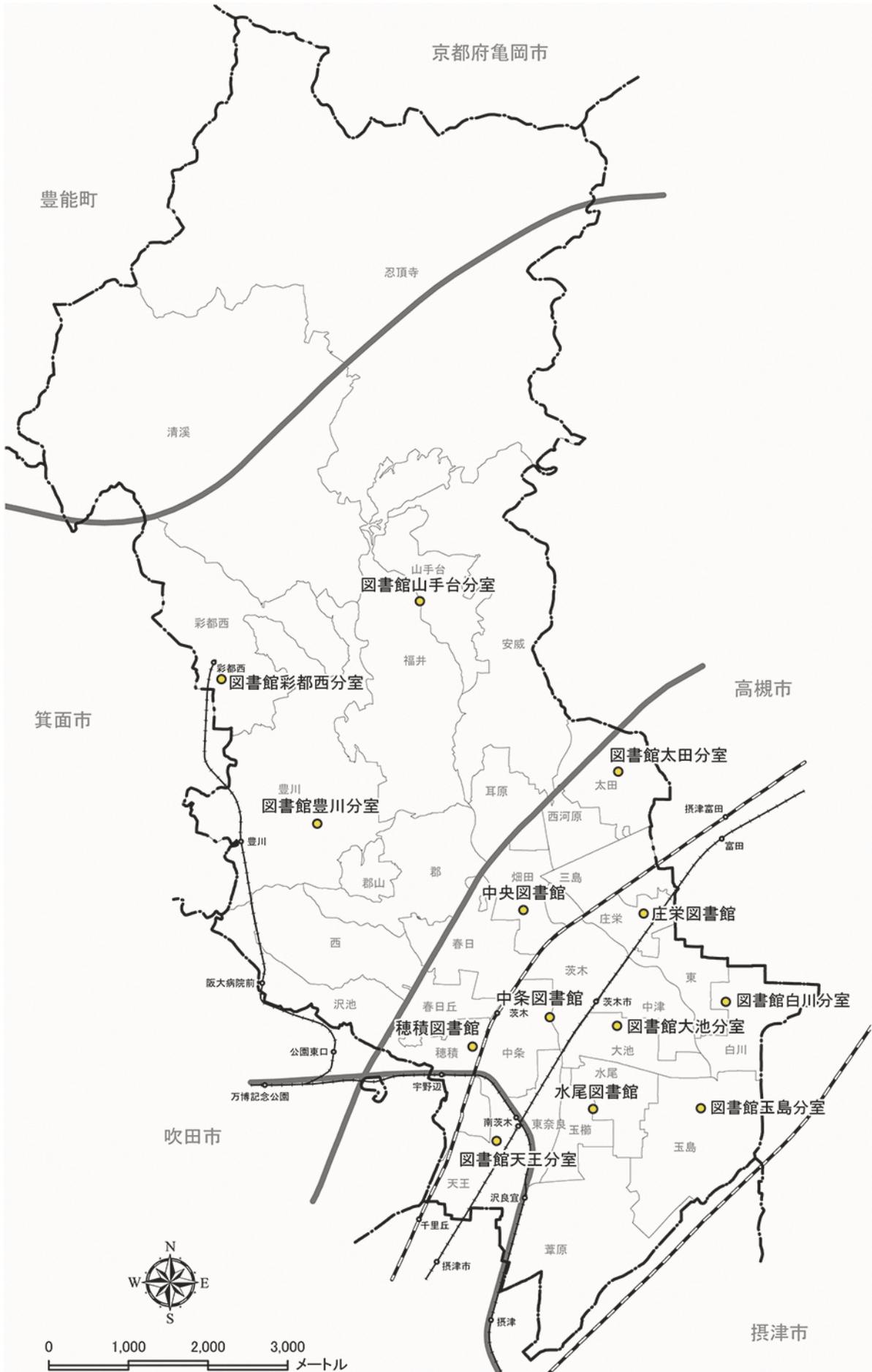


図 3-2-137 対象施設位置図 (図書館)

### ③ 利用の状況

図書館全体の貸出人数等の推移をみると、平成9年度時点で約68万人、その後、庄栄図書館、穂積図書館等の開館もあって増加傾向が続いていましたが、平成22年度の約113万人をピークに減少に転じ、平成28年度には約91万人となっています。また登録人数も平成17年の約8万6千人をピークに減少し、平成28年度には約6万4千人となっています。

平成28年1月に自動貸出機の導入や資料貸出点数の変更(図書の場合8冊から20冊に変更)を行ったこともあり、平成28年度に貸出点数が増加に転じています。

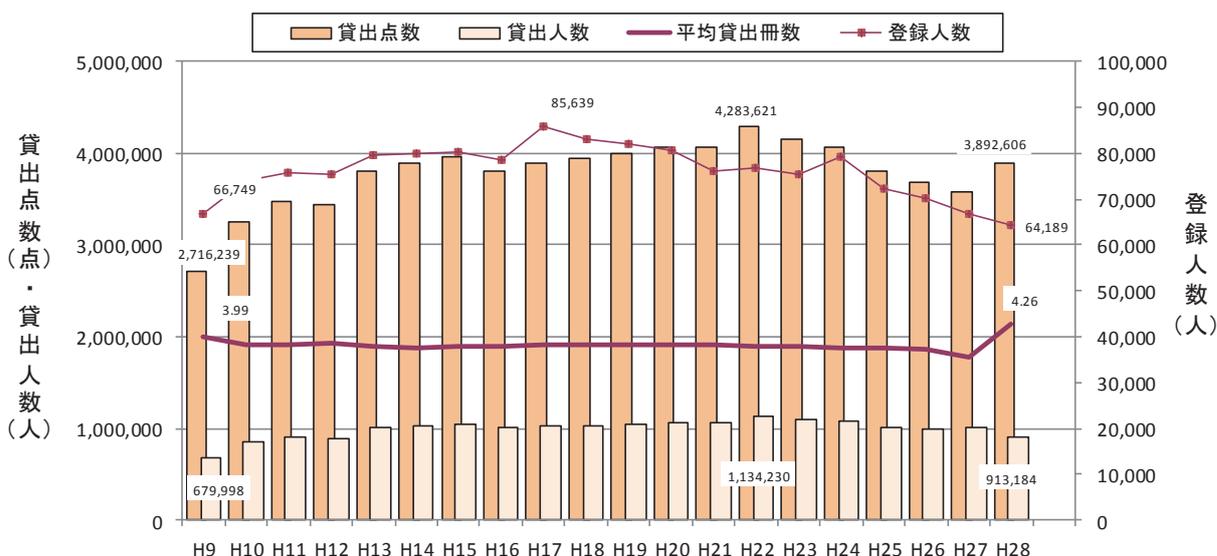


図 3-2-138 貸出人数等の推移

施設別の貸出人数の推移をみると、中央図書館が最も多く、年間の貸出人数が30万人を超えて推移しており、改修工事の影響で一時的に減少したものの、平成28年度には約27万人となっており、全体の約3割を占めています。

また、分室貸出人数は増加傾向にあり、彩都西分室が開室した平成24年度には大きく増加しています。

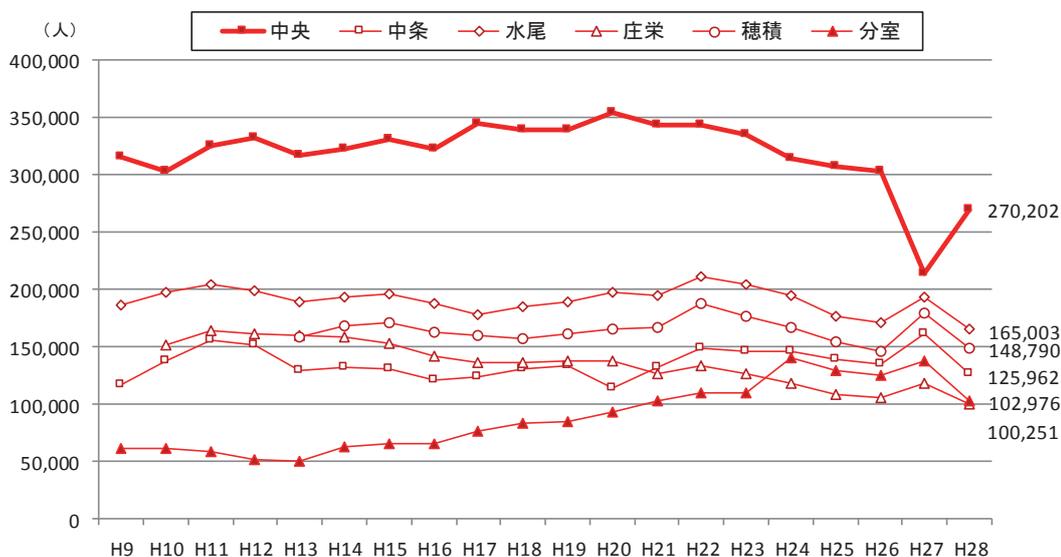


図 3-2-139 施設別の貸出人数の推移

平成 28 年度の図書館の来館者数をみると、中央図書館が約 53 万人となっており、次に多い中条図書館の 2 倍近くになっています。

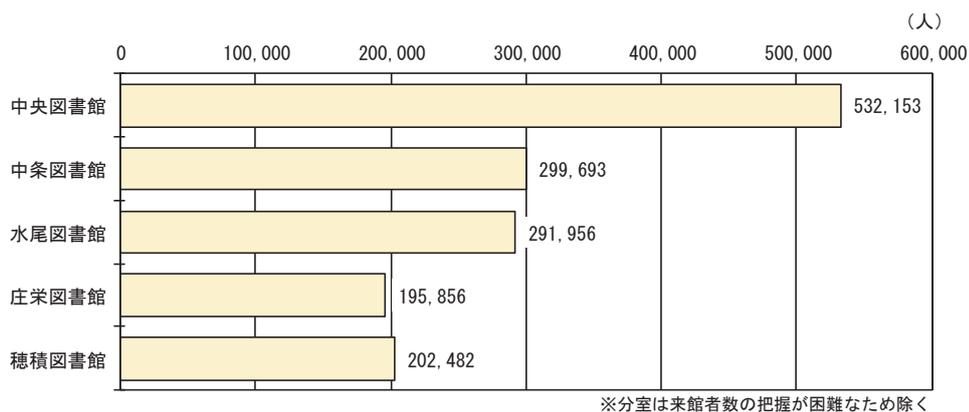


図 3-2-140 図書館の来館者数（平成 28 年度）

#### ④ 施設に関する総コストの状況

平成 28 年度の施設に関する総コストをみると、規模が大きい中央図書館で約 3 億 3 千万円と突出して高くなっています。残りの 4 つの図書館ではおおむね 6 千万円となっており、大半が人件費となっています。

分室についても豊川分室を除き、人件費が過半を占めている状況です。

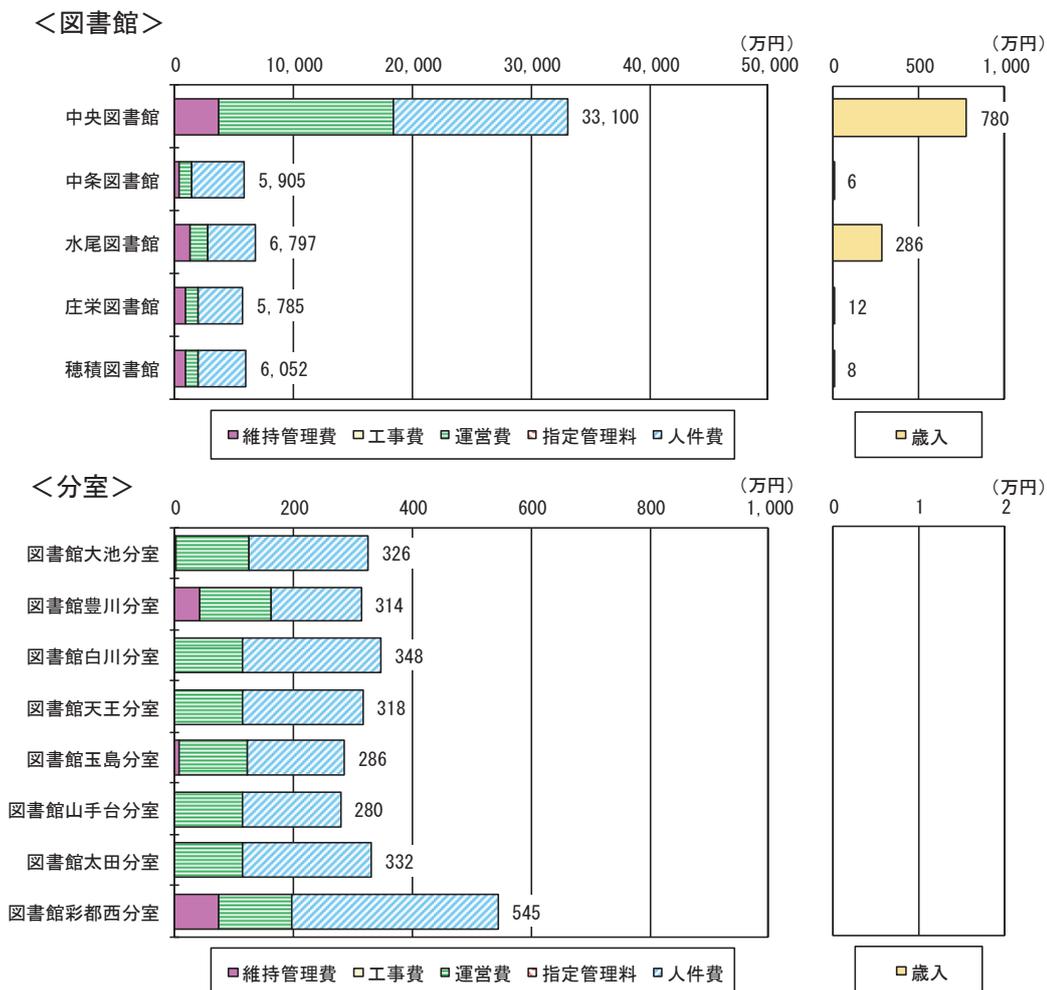


図 3-2-141 施設に関する費用と内訳（H28 年度）

## ⑤ 単位あたりの市負担コストの状況

単位あたりの市負担コスト（工事費に係る歳入歳出を除く）について、延床面積1㎡あたりで比較すると、庄栄図書館が約6万2千円で最も高くなっています。全体的に図書館が高く分室が低い傾向があるものの、極端な差はみられない状況となっています。

図書館の来館者1人あたりで比較すると、センター的機能を果たす中央図書館が約600円と高くなっています。また、分室の貸出人数1人あたりで比較すると、図書館豊川分室が約490円で最も高くなっています。

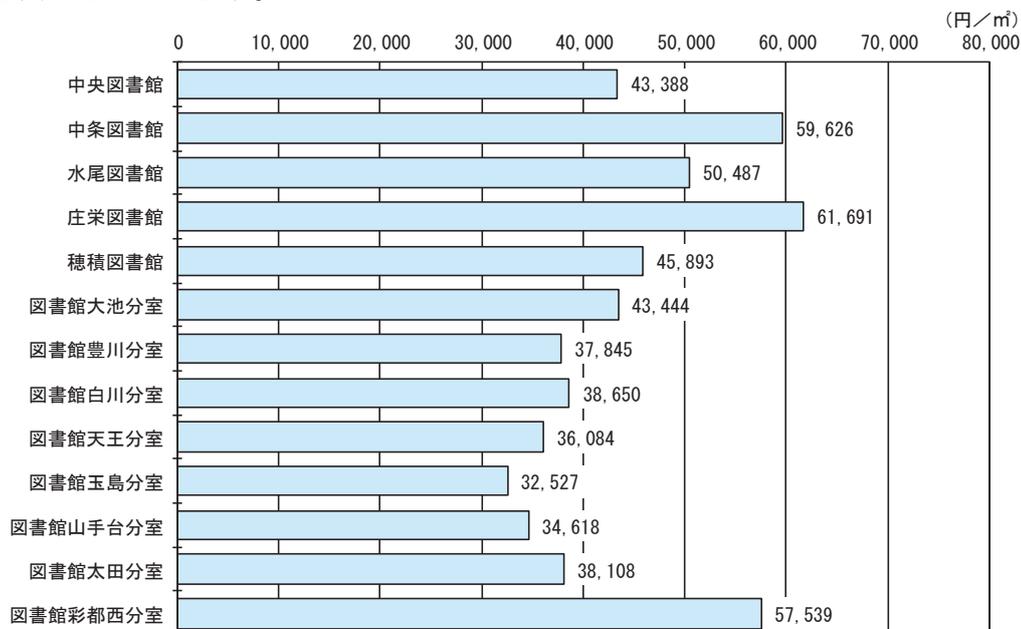


図 3-2-142 延床面積1㎡あたりの市負担コスト (H28年度)

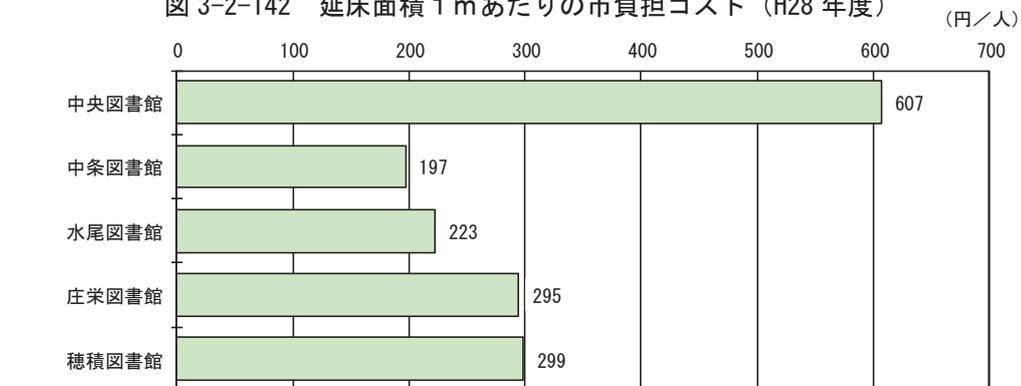


図 3-2-143 図書館の来館者1人あたりの市負担コスト (H28年度)

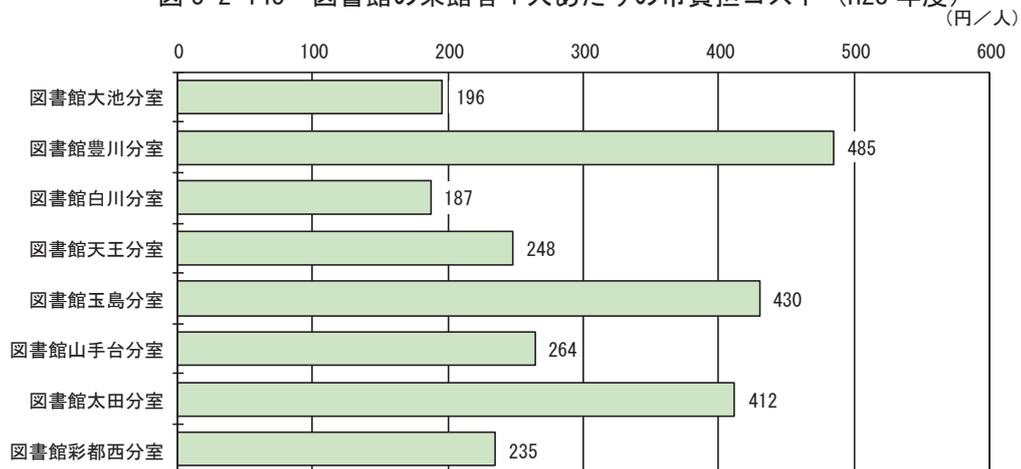


図 3-2-144 分室の貸出人数1人あたりの市負担コスト (H28年度)

## ⑥ 単位あたりの利用状況

図書館の延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりの来館者数をみると、中央図書館を除く 4 つの図書館はいずれも 100 人を超えています。大規模な書庫を有する中央図書館は約 71 人となっています。分室の延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりの貸出人数をみると、場所ごとに差が大きく、大池分室、白川分室、彩都西分室が 200 人を超えています。

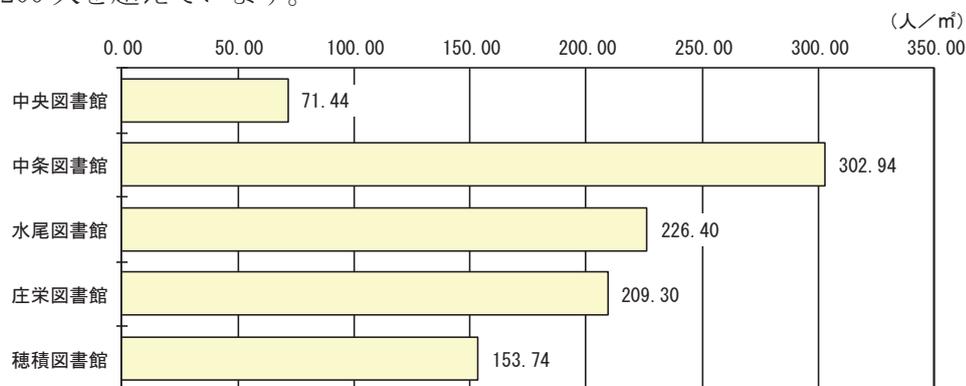


図 3-2-145 図書館の延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりの来館者数 (H28 年度)

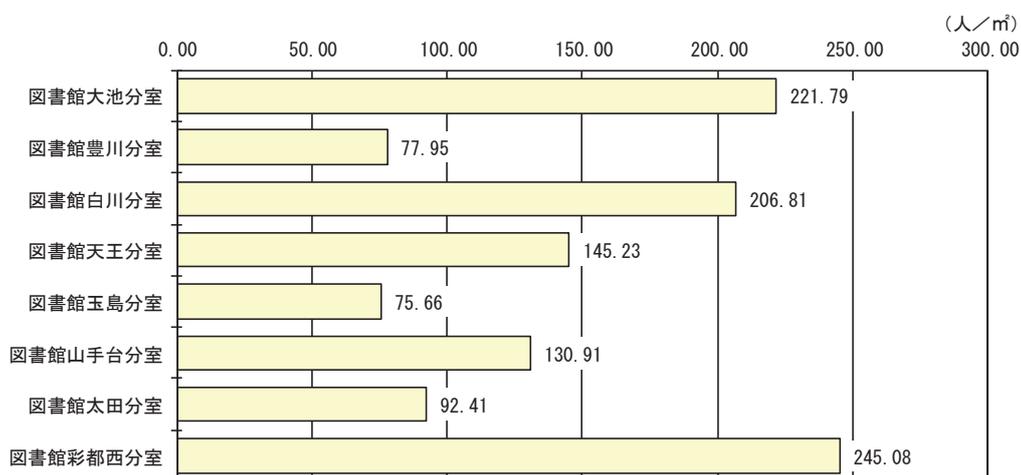


図 3-2-146 分室の延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりの貸出人数 (H28 年度)

## ⑦ 今後の課題等

- ・貸出点数等は増加に転じる傾向がみられる一方で、図書館全体の貸出人数は横ばいから減少傾向となっています。
- ・市内図書館のセンター的機能を果たし、多くの市民にゆとりある空間を提供している中央図書館をはじめ、分館・分室においても、それぞれの機能と役割に応じて利用されていますが、立地条件や地域性に応じた資料提供、施設利用のあり方などの継続的な検討が求められています。
- ・中央図書館は大規模改修を実施しましたが、その他の館についても建築から 20 年を経過しており、計画的な改修を検討する必要があります。
- ・「市民会館跡地エリア活用基本構想」では、市民会館跡地エリアを活用した新施設における導入機能、施設構成のイメージの一つとして、憩い機能、また、子育て支援機能としての図書スペースという方向性を示しており、具体的な内容の検討にあたっては、近接する中条図書館からの機能移転や既存図書館との役割分担等を十分に検討する必要があります。

## 2) 公民館

### ① 概要

本市には、公民館が33館と公民館分室が1か所あります。本書では、単独の公民館の建物を有する18か所（中央公民館とコミュニティセンターに併設している公民館を除く）について整理します。

公民館は、社会教育法に基づき、地域住民に最も身近な社会教育の拠点として、教育、学術及び文化に関する事業を行い、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興など、地域に根ざした活動を行っています。より多くの市民が参加できる地域活動の拠点とするため、近年、公民館のコミュニティセンター化を推進しています。

延床面積は、玉櫛公民館が約1,300㎡で最も大きく、800㎡を超える施設が7か所となっていますが、残りの施設はおおむね400～500㎡となっています。中条公民館と太田公民館分室は、建築後40年を経過しています。

表 3-2-25 公民館の概要

No.	施設名	所在地	複合区分	運営形態	延床面積 (㎡)	主要な建物の情報 (H29年末現在)			
						建築年	経過年数	構造・階数	耐震性
公民館									
1	茨木公民館	東宮町1番19号	単独	直営	882	S57	35	RC・2	○
2	春日丘公民館	下穂積三丁目5番5号	単独	直営	535	S63	29	RC・2	○
3	中条公民館	下中条町3番27号	単独	直営	782	S44	48	RC・2	○
4	玉櫛公民館	沢良宜東町5番39号	単独	直営	1,329	S58	34	RC・2	○
5	安威公民館	安威二丁目16番12号	単独	直営	851	H15	14	RC・2	○
6	玉島公民館	平田二丁目25番9号	複合	直営	1,032	S61	31	RC・2	○
7	福井公民館	東福井二丁目4番40号	単独	直営	414	S53	39	RC・2	○
8	清溪公民館	大字泉原332番地の3	単独	直営	416	S60	32	RC・2	○
9	見山公民館	大字下音羽163番地	単独	直営	392	S61	31	RC・2	○
10	石河公民館	大字大岩347番地の1	単独	直営	398	S59	33	RC・2	○
11	太田公民館	太田三丁目6番18号	複合	直営	1,037	H1	28	RC・2	○
12	太田公民館分室	太田二丁目6番1号	単独	直営	487	S49	43	RC・2	○
13	天王公民館	天王二丁目13番71号	複合	直営	1,061	S60	32	RC・2	○
14	郡山公民館	新郡山二丁目30番53号	単独	直営	589	H8	21	RC・2	○
15	山手台公民館	山手台三丁目32番2号	複合	直営	491	S62	30	RC・2	○
16	耳原公民館	耳原二丁目18番14号	単独	直営	468	S63	29	RC・2	○
17	白川公民館	鮎川一丁目8番17号	複合	直営	1,025	S59	33	RC・2	○
18	西公民館	北春日丘四丁目7番2号	単独	直営	438	H1	28	RC・2	○



中条公民館



見山公民館

## ② 施設位置図



図 3-2-147 対象施設位置図 (公民館)

### ③ 利用の状況

公民館の利用者をみると、平成 28 年度では、太田公民館の利用者が最も多く約 3 万 5 千人と なっていますが、清溪公民館、見山公民館、石河公民館では 2 千人以下となっています。

公民館には大会議室をはじめとする 5～8 室の貸室を有しており、その合計の稼働率（総利 用可能コマ数に対する総利用コマ数の割合）をみると、いずれの施設でも 40%以下となってい ます（貸室・時間帯別の稼働率の詳細については、3-3 で整理しています）。

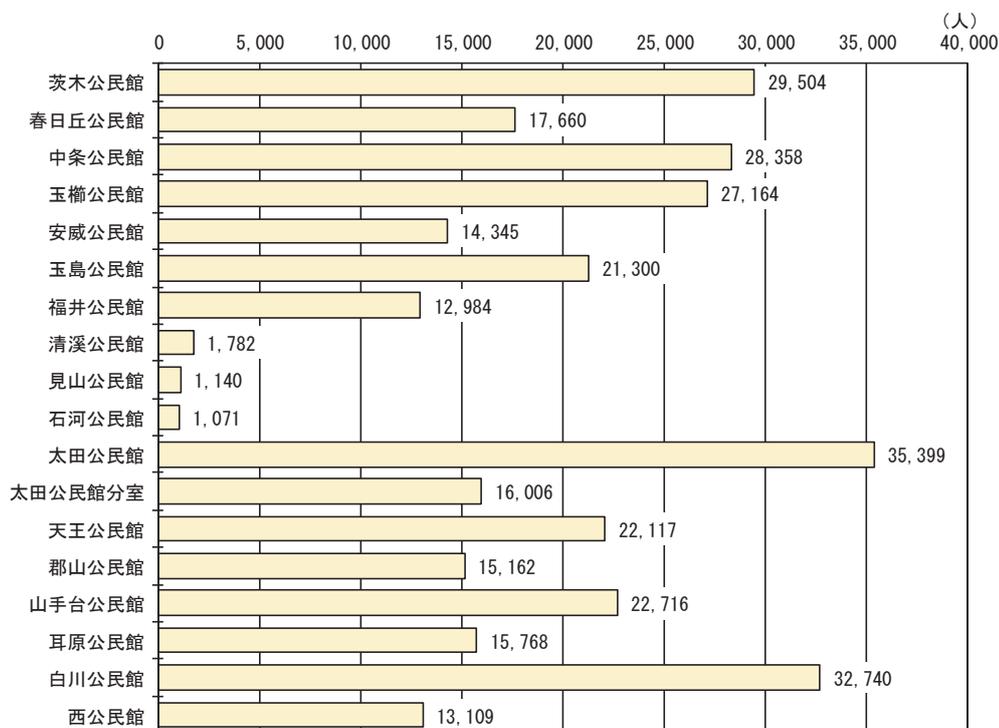


図 3-2-148 施設の利用者数 (H28 年度)

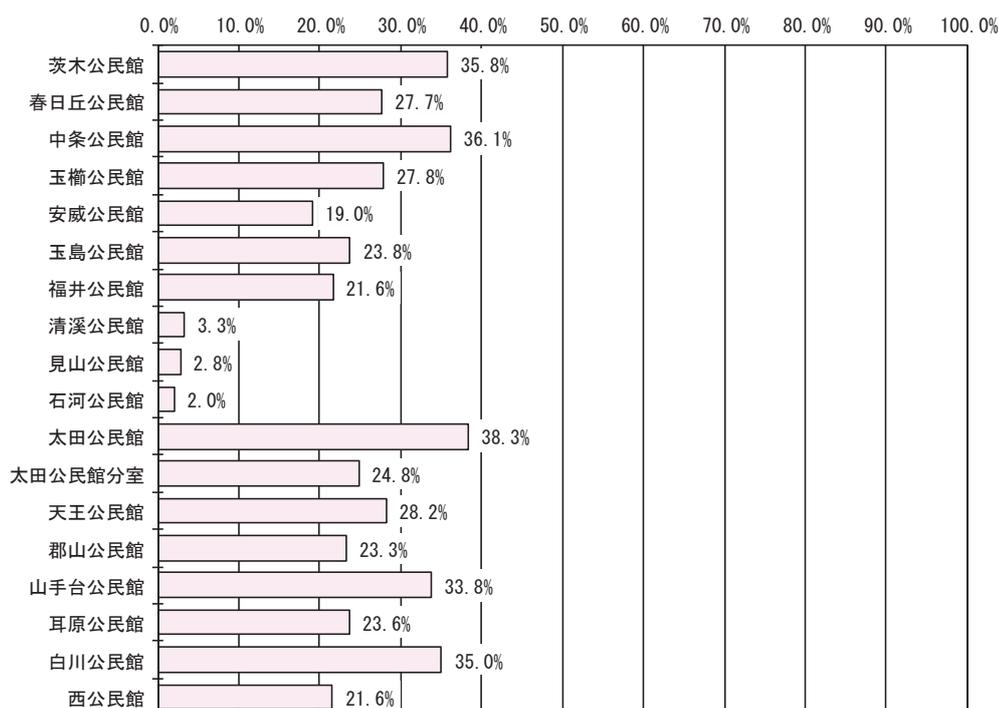


図 3-2-149 施設の貸室の稼働率 (H28 年度)

#### ④ 施設に関する総コストの状況

平成 28 年度の施設に関する総コストをみると、バリアフリー改修としてエレベーターの設置工事を実施した太田公民館と天王公民館で約 6 千万円と高くなっています。工事費を除けば、いずれの施設も維持管理費が大部分を占めています。

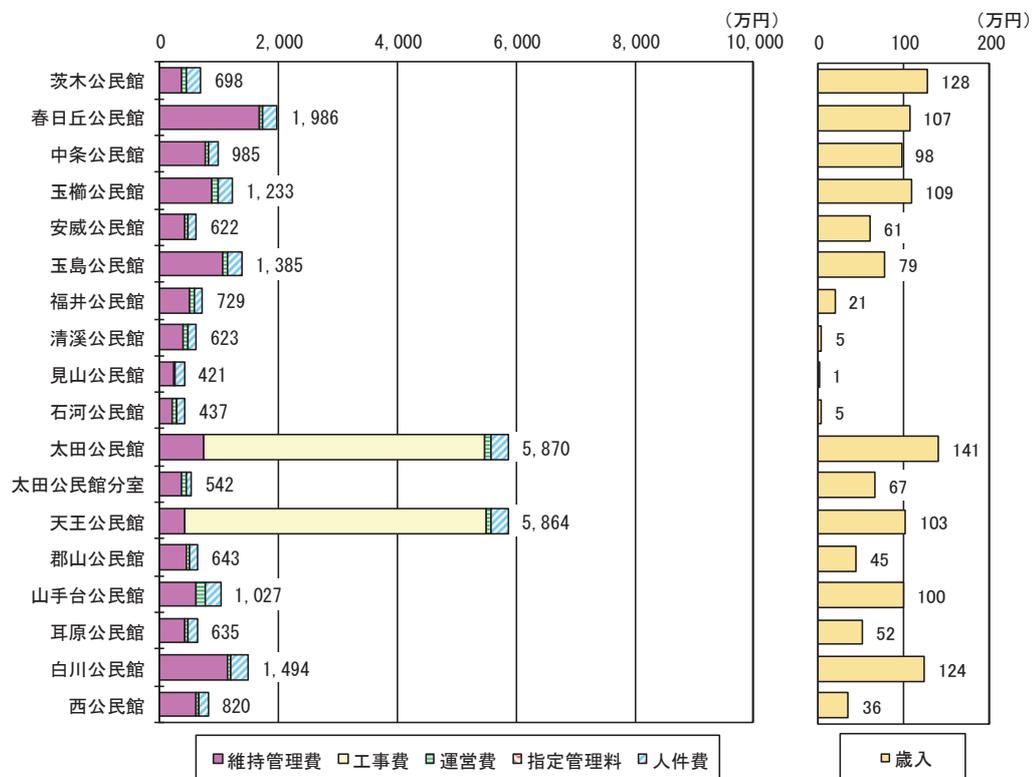


図 3-2-150 施設に関する費用と内訳 (H28 年度)

## ⑤ 単位あたりの市負担コストの状況

単位あたりの市負担コスト（工事費に係る歳入歳出を除く）について、延床面積1㎡あたりで比較すると、大規模な修繕を実施した春日丘公民館が、比較的延床面積が小さいこともあり、約3万5千円と突出して高くなっています。

利用者1人あたりで比較すると、清溪公民館、見山公民館、石河公民館が3千円以上と高くなっています。

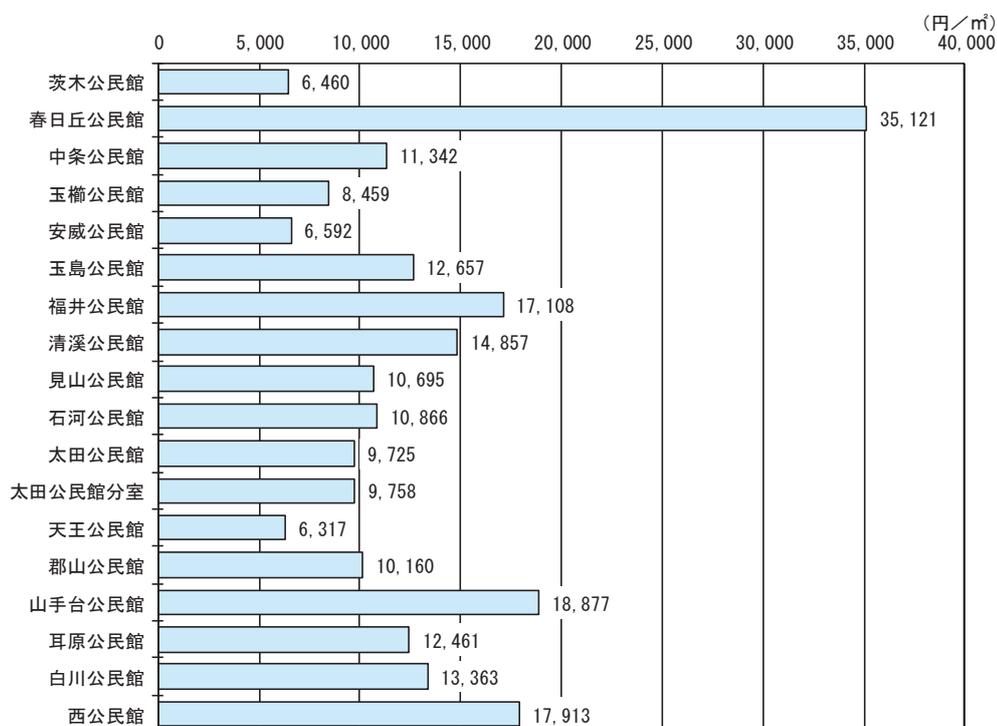


図 3-2-151 延床面積1㎡あたりの市負担コスト（H28年度）

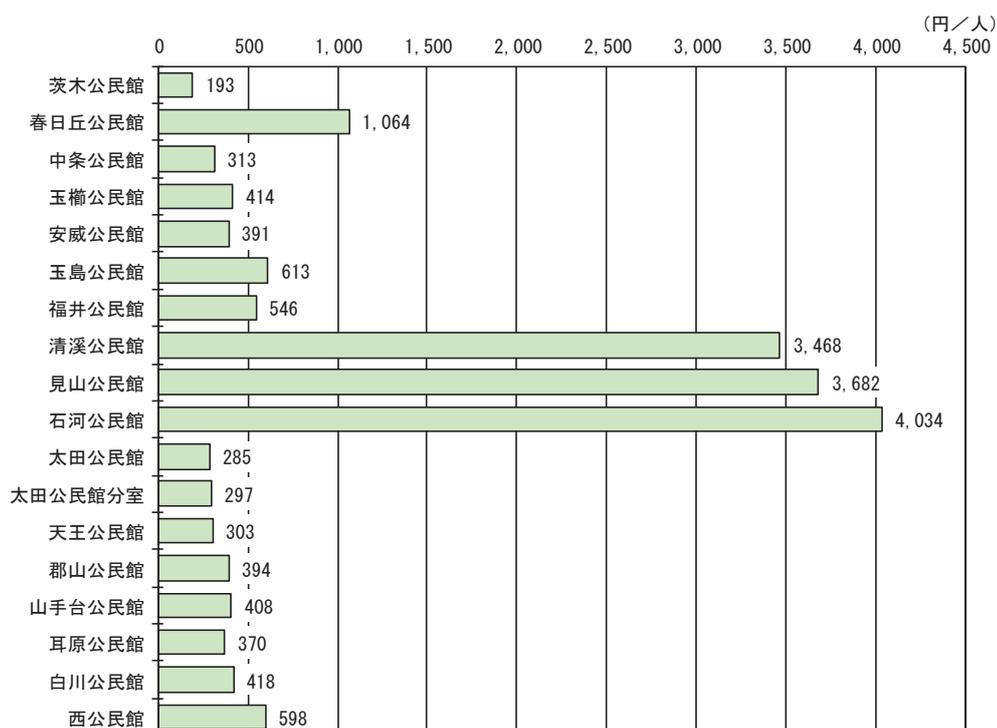


図 3-2-152 利用者1人あたりの市負担コスト（H28年度）

## ⑥ 単位あたりの利用状況

延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりの利用者数をみると、山手台公民館で約 46 人、次いで中条公民館約 36 人などで高く、清溪公民館、見山公民館、石河公民館では 5 人以下と低くなっています。

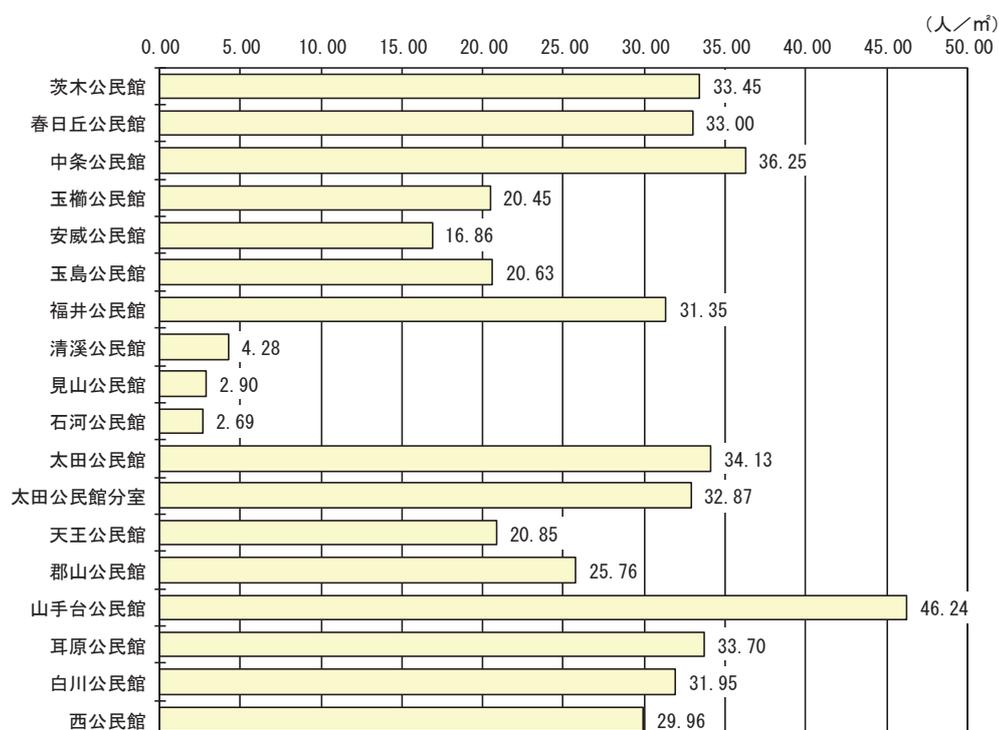


図 3-2-153 延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりの利用者数 (H28 年度)

## ⑦ 今後の課題等

- ・「茨木市地域コミュニティ基本指針 (平成 24 年 3 月)」の策定時に行った「地域コミュニティに関するアンケート」によると、過去 1 年間に公民館もコミュニティセンターも利用していない人が 6 割に上っており、地域住民の利用促進が必要です。
- ・山間部に立地する公民館の利用が特に少なく、利用者あたりのコストが大きいため、地域の集会施設を含めた近隣の類似施設の配置状況等を踏まえ、稼働率の向上等に努める必要があります。
- ・市民ニーズが多様化する中で、社会教育法に基づく施設としての公民館は利用上の制約が多い側面を持つため、施設の利用面でより多様な活動が可能となるコミュニティセンター等への移行を進めています。より市民のニーズに近づけるために、今後も地域の状況を見極めながら、公民館のコミュニティセンター化を検討することが求められます。

### 3) 青少年健全育成施設

#### ① 概要

本市には、青少年健全育成施設として、上中条青少年センターと青少年野外活動センターがあります。

上中条青少年センターは、市内在住・在学・在勤の青少年の育成を図るため、自学自習用の学習室や本格的な音響設備を備えた音楽視聴覚室等の貸室のほか、子どもセミナー等の主催事業を通じて体験学習の機会を提供しており、川端康成文学館との複合施設となっています。

青少年野外活動センターは、銭原地域に立地し、青少年が豊かな自然の中で協力・友愛・奉仕の心を育み、たくましい実践力を培うことを目的とした野外活動施設となっています。

いずれも直営の施設であり、指定管理者制度等は導入していません。

表 3-2-26 青少年健全育成施設の概要

No.	施設名	所在地	複合区分	運営形態	延床面積 (㎡)	主要な建物の情報 (H29年末現在)			
						建築年	経過年数	構造・階数	耐震性
青少年センター									
1	上中条青少年センター	上中条二丁目11番22号	複合	直営	3,290	S60	32	RC・4	○
青少年野外活動センター									
1	青少年野外活動センター	大字銭原115番地	単独	直営	3,296	S50	42	RC・1	○



上中条青少年センター



青少年野外活動センター



### ③ 利用の状況

年間の利用者の推移をみると、上中条青少年センターは、改修工事等の影響で年度によって利用者数のバラつきがみられますが、おおむね約4～5万人で推移しており、平成28年度は約5万1千人です。青少年野外活動センターは、おおむね横ばいで推移しており、平成28年度の利用者は約1万2千人です。

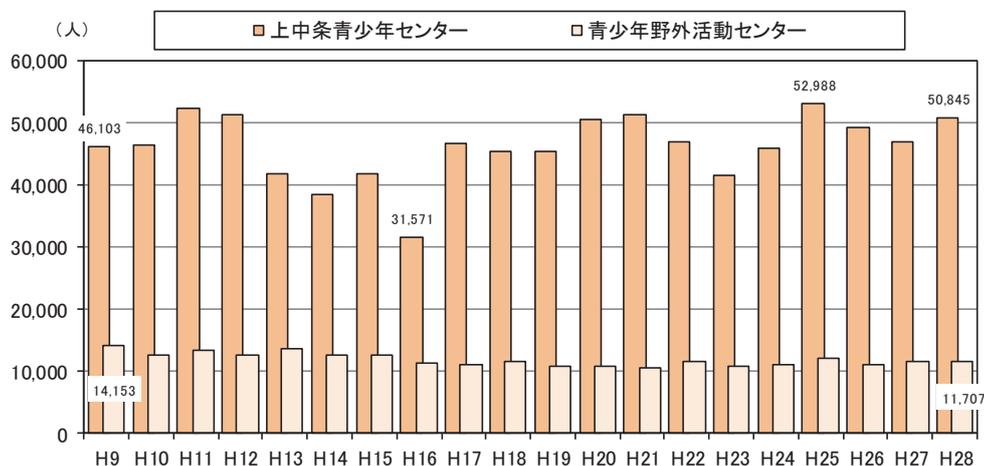


図 3-2-155 施設の利用者数の推移

上中条青少年センターは、青少年ホール（350 席）をはじめ、会議室等の貸室を複数有しています。それらの稼働率（総利用可能コマ数に対する総利用コマ数の割合）をみると、青少年ホールで39.1%、その他の貸室で32.6%となっています（貸室・時間帯別の稼働率の詳細については、3-3 で整理しています）。

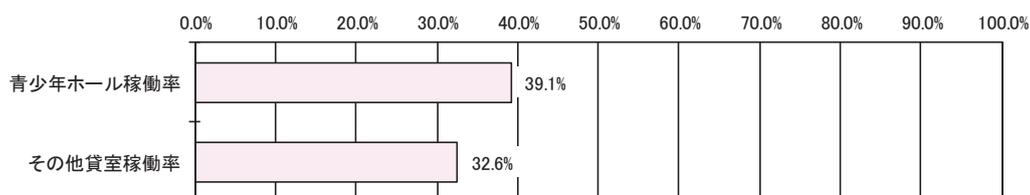


図 3-2-156 上中条青少年センターのホール・貸室の稼働率（H28 年度）

#### ④ 施設に関する総コストの状況

平成 28 年度の施設に関する総コストをみると、上中条青少年センターで約 5 千万円、青少年野外活動センターで約 8 千万円となっており、上中条青少年センターでは維持管理に関する費用の割合が高く、青少年野外活動センターでは人件費の割合が高くなっています。

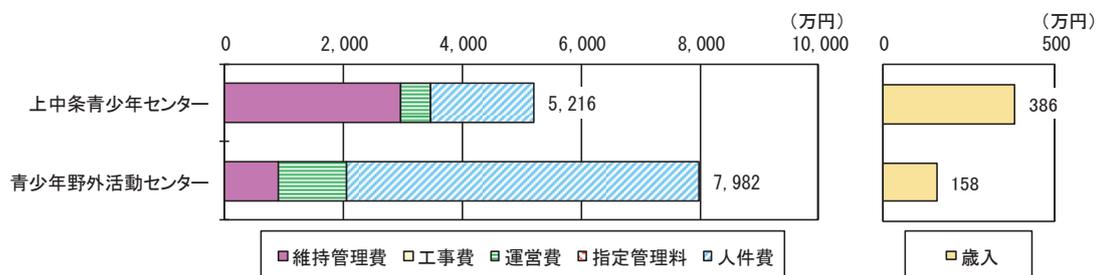


図 3-2-157 施設に関する費用と内訳 (H28 年度)

#### ⑤ 単位あたりの市負担コストの状況

単位あたりの市負担コスト（工事費に係る歳入歳出を除く）について、延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりで比較すると、敷地に対して建物の占める割合が小さい青少年野外活動センターで約 2 万 4 千円と高く、上中条青少年センターで約 1 万 5 千円となっています。

また、利用者 1 人あたりで比較すると、青少年野外活動センターが約 6,700 円、上中条青少年センターで約千円となっています。

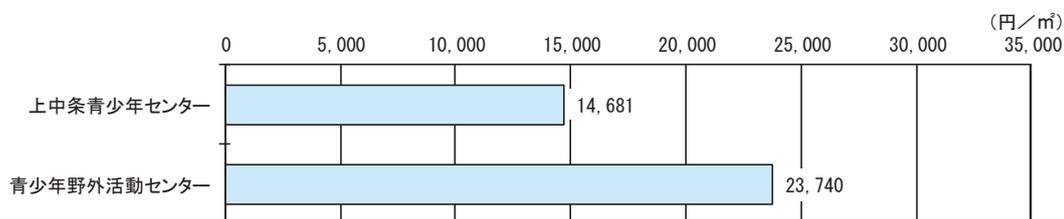


図 3-2-158 延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりの市負担コスト (H28 年度)

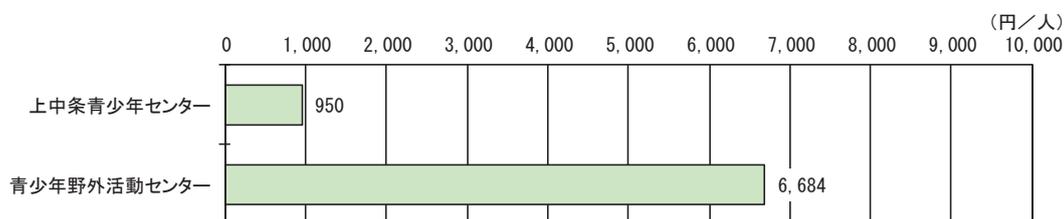


図 3-2-159 利用者 1 人あたりの市負担コスト (H28 年度)

## ⑥ 単位あたりの利用状況

延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりの利用者数をみると、上中条青少年センターで約 15 人、青少年野外活動センターで約 4 人となっています。

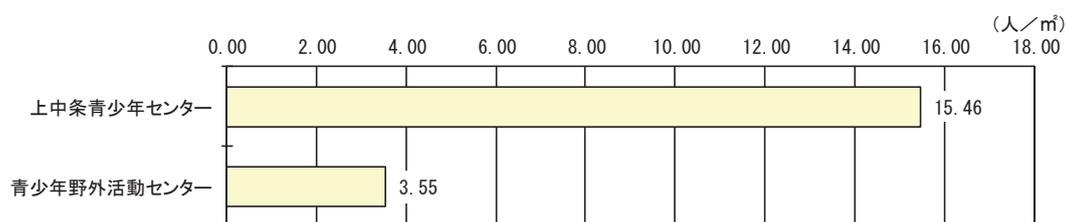


図 3-2-160 延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりの利用者数 (H28 年度)

## ⑦ 今後の課題等

- ・上中条青少年センターの利用者数は改修工事などの影響で年度により増減がありますが、老朽化した施設の改修により、安全性や利便性の向上を図るとともに、青少年のための事業を充実させるなど、利用者の更なる増加に向けた取り組みが求められます。
- ・青少年野外活動センターでは、大学生のキャンプカウンセラーの参画を多数得て、利用者である青少年の指導育成を行っていることから人件費の負担が大きくなっていますが、青少年への教育内容と安全・安心を確保しつつ、コスト削減に向けた取り組みについて、継続的な検討が求められます。

## 4) 文化財施設

### ① 概要

本市には、文化財施設として、文化財資料館とキリシタン遺物史料館があります。

文化財資料館は、市民がまちの歴史や文化に親しみ、郷土愛を育てる場として、先人たちが残した貴重な文化財である銅鐸の鋳型、土器、古墳の模型、古文書、民俗資料、茨木城にまつわる武将の話やゆかりの品々、茨木遺跡の出土品などを展示しています。

キリシタン遺物史料館は、「隠れキリシタンの里」として有名な千提寺地区に立地する、木造平屋建てで延床面積は約 100 m<sup>2</sup>の小規模な施設です。茨木のキリシタンの歴史や、発見された遺物を展示公開しています。

いずれも直営の施設であり、指定管理者制度等は導入していません。

表 3-2-27 文化財施設の概要

No.	施設名	所在地	複合区分	運営形態	延床面積 (m <sup>2</sup> )	主要な建物の情報 (H29年末現在)			
						建築年	経過年数	構造・階数	耐震性
文化財施設									
1	文化財資料館	東奈良三丁目12番18号	単独	直営	1,913	S58	34	RC・2	○
2	キリシタン遺物史料館	大字千提寺262番地	単独	直営	109	S62	30	W・1	○



文化財資料館



キリシタン遺物史料館

## ② 施設位置図



図 3-2-161 対象施設位置図（文化財施設）

### ③ 利用の状況

年間の来館者数の推移をみると、両施設ともに平成10年度をピークに来館者が減少したものの、この10年ほどは回復傾向にあり、平成28年度の来館者数は文化財資料館で約1万2千人、キリシタン遺物史料館で約6千人となっています。

文化財資料館の来館者について個人と団体の割合を比較すると、いずれの年度も個人の方が多く、平成28年度には個人が81%を占めている状況です。文化財資料館は、市内の小学校と連携し、3年生と6年生の社会見学等でも利用されていますが、団体での来館者数は近年減少傾向がみられます。

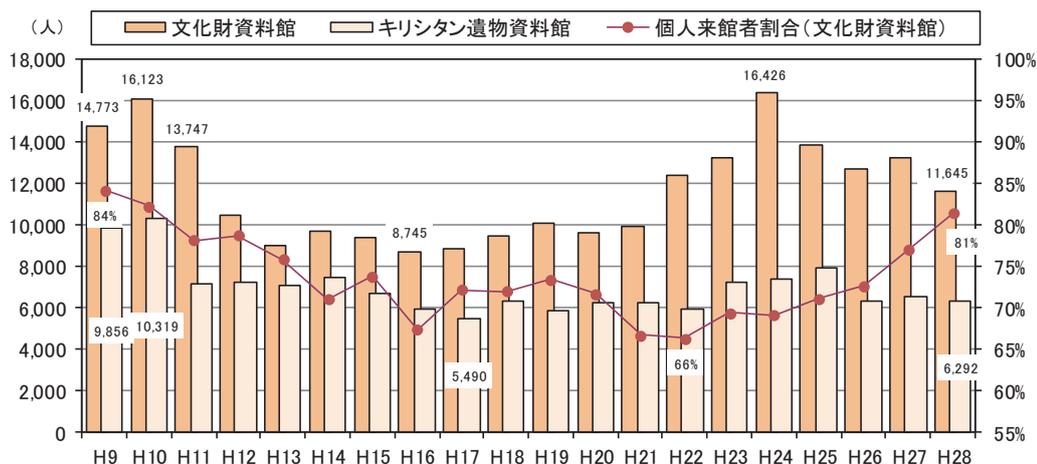


図 3-2-162 施設の利用者数の推移

### ④ 施設に関する総コストの状況

平成28年度の施設に関する総コストをみると、文化財資料館で約7千万円、キリシタン遺物史料館で約1千万円となっており、いずれの施設でも人件費の割合が大部分を占めています。

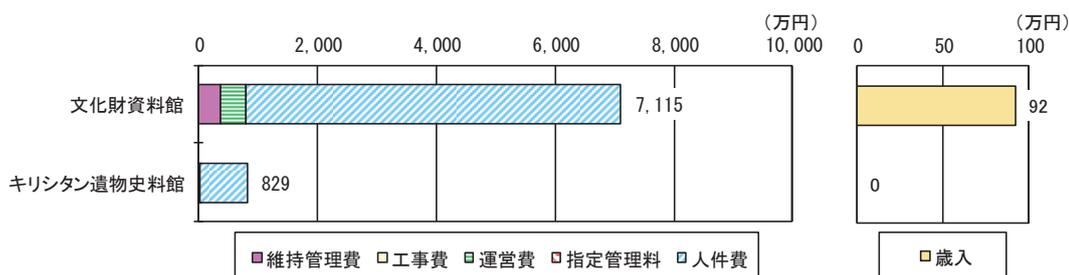


図 3-2-163 施設に関する費用と内訳 (H28 年度)

## ⑤ 単位あたりの市負担コストの状況

単位あたりの市負担コスト（工事費に係る歳入歳出を除く）について、延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりで比較すると、規模の小さなキリシタン遺物史料館で約 7 万 6 千円と高く、文化財資料館で約 3 万 7 千円となっています。

また、利用者 1 人あたりで比較すると、文化財資料館が約 6 千円、キリシタン遺物資料館で約千円となっています。

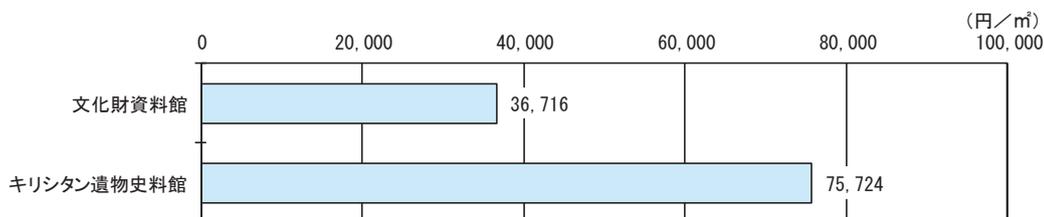


図 3-2-164 延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりの市負担コスト (H28 年度)

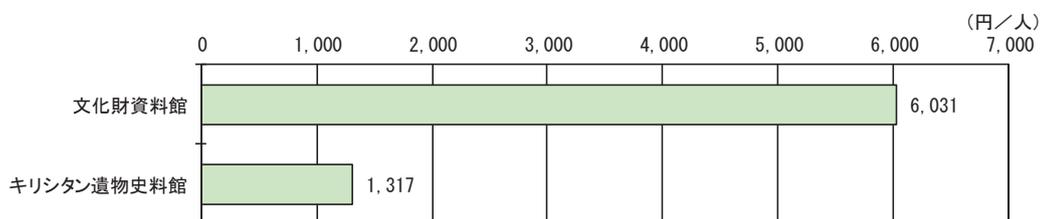


図 3-2-165 利用者 1 人あたりの市負担コスト (H28 年度)

## ⑥ 単位あたりの利用状況

延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりの利用者数をみると、規模の小さなキリシタン遺物史料館で約 58 人、文化財資料館で約 6 人となっています。

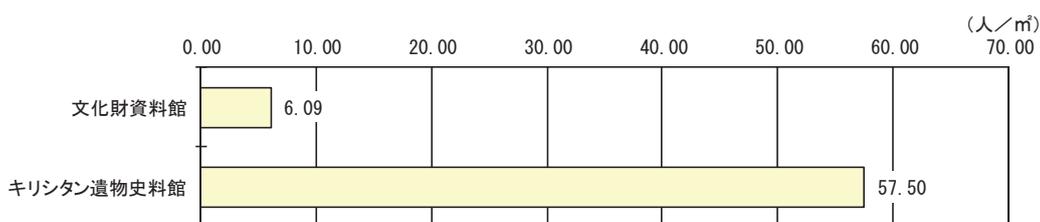


図 3-2-166 延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりの利用者数 (H28 年度)

## ⑦ 今後の課題等

- ・文化財資料館は、近年の歴史ブームはあるものの、ここ数年は来館者数が伸び悩んでおり、団体利用の促進や市内外への積極的なPR等により、来館者を増やしていくための取組が求められます。
- ・文化財に関する資料には歴史的に重要な資料も多く、適切な保管が求められますが、近年、開発に伴う埋蔵文化財の出土が増加しており、また、市史編さんに関わる資料も移管されるなど、資料が増加する傾向にあります。市民に展示、公開するスペースのほか、文化財の収蔵スペースについても、適切な規模の確保が必要です。
- ・クリシタン遺物史料館は、平成 29 年に新名神高速道路のインターチェンジやパーキングエリアが設置された千提寺地区に立地しており、今後予定されている安威川ダムの周辺整備等も含めた各種プロジェクトとの相乗効果を図り、市北部地域の魅力向上につなげていくことが求められます。
- ・両施設ともに、人件費の割合が過半を占めており、指定管理者制度の導入可能性を定期的に検討するなど、運営面での改善を検討する必要があります。